

## 第20回坊っちゃん文学賞 最終審査通過作品表彰式について

### 1 最終審査通過作品

作品名（よみがな）	筆名（よみがな）	住所	年齢
鯉のぼり （こいのぼり）	藤原チコ （ふじわら ちこ）	愛媛県	38
砂道教室 （さどうきょうしつ）	尻野ペロ彦 （しりの べろひこ）	東京都	46
純愛の繭 （じゅんあいのまゆ）	たておきちはる	岩手県	34
のどぼとけさま	望月 滋斗 （もちづき しげと）	茨城県	22
ライフ・イズ・ア・ムービー （らいふ・いず・あ・むーびー）	望月 滋斗 （もちづき しげと）	茨城県	22
ルビいなヤツら （るびいなやつら）	まり。	東京都	59

※ 作品名の五十音順で並んでいます。

※ 年齢は表彰式（令和6年1月25日）時点です。

#### 【田丸雅智 審査員長からのコメント】

まずは、ご応募くださったみなさまに心から感謝申し上げます。

今年は過去2番目に多い8,000作以上の作品が集まり、本当にありがたい限りでした。

最終候補に残った20作品は今年もレベルがとても高く、審査時間は過去最長の4時間超えとなりました。

そして、熱い議論の末に、審査員一同が納得できる素晴らしい受賞6作品を送り出すことができました。

その6作の披露、そして大賞の発表も楽しみにしててください。

### 2 大賞の発表と表彰式

#### (1) 開催日

令和6年1月25日(木曜日)

#### (2) 参加予定者

- ・ 審査員3名
- ・ 最終審査通過6作品5名
- ・ 松山市長 野志 克仁

(3) 内容

- ・ あいさつ：松山市長 野志 克仁、審査員長 田丸 雅智
- ・ 結果発表（大賞1名、佳作5名）
- ・ 表彰状の授与
- ・ 受賞者、審査員のコメント

※ 表彰式は報道機関の方が入れます。一般の方は入れません。

※ 詳細は決まり次第、お知らせします。

3 作品の応募状況

(1) 募集期間

令和5年5月1日（月曜日）～令和5年9月30日（土曜日）

(2) 応募総数

- ・ 作品数 : 8,014点（前回7,026点）
- ・ 応募者数 : 5,074名（前回3,912名）

(3) 応募作品数内訳

- ・ 年代別

	今回	前回
10代以下	1,244	866
20代	1,608	1,739
30代	1,110	1,232
40代	1,381	887
50代	1,067	827
60代以上	938	792
無記入等その他	666	683
合計	8,014	7,026

※ 最年少応募者 愛媛県松山市在住 8歳

最年長応募者 長野県在住 93歳

- ・ 職業別（応募の多かった職業上位5件）

今回		前回	
会社員	1,202	学生	879
学生	1,072	会社員	741
無職	523	無職	501
自営業	446	主婦	280
パート、アルバイト	439	パート、アルバイト	153

・ 地域別

	今回	前回
北海道	211	173
東北	245	195
青森	33	16
岩手	30	30
宮城	103	73
秋田	23	19
山形	32	9
福島	24	48
関東	3,196	3,244
茨城	83	94
栃木	66	105
群馬	63	63
埼玉	428	354
千葉	393	354
東京	1,436	1,515
神奈川	727	759
中部	1,113	871
新潟	381	169
富山	26	28
石川	38	39
福井	20	33
山梨	40	40
長野	73	161
岐阜	69	38
静岡	132	100
愛知	334	263
近畿	1,591	1,139
三重	75	66
滋賀	348	63
京都	248	152
大阪	518	515
兵庫	291	262
奈良	69	59
和歌山	42	22
中国	277	186
鳥取	31	19
島根	21	24
岡山	64	45
広島	100	65
山口	61	33
四国	812	725
徳島	81	49
香川	55	42
愛媛	635	602

(うち松山市)	438	307
高知	41	32
九州	488	418
福岡	221	222
佐賀	12	10
長崎	40	31
熊本	63	51
大分	43	23
宮崎	28	31
鹿児島	39	31
沖縄	42	19
海外	64	62
不明	17	13
合計	8,014	7,026

・ 応募方法別

	今回	前回
WEB	6,706	6,247
郵送	1,308	779
合計	8,014	7,026

・ これまでに本賞への応募の有無（初応募者の割合）

	今回		前回	
	人数	割合	人数	割合
有	1,373	27.1%	2,326	59.5%
無	3,642	71.8%	1,487	38%
未記入	59	1.2%	99	2.5%
合計	5,074	100%	3,912	100%

3. 感想募集

- ・ 受賞作品の感想を初めて募集します。
- ・ 作品のアイデアや文章力などに関し、どのように良かったか、どう感じたかなど、作者へのエールも含め応募してください。
- ・ 一人につき、大賞1作品、佳作5作品の最大6作品に応募できます。
- ◆募集期間：令和6年1月25日（木曜日）～ 令和6年2月25日（日曜日）
- ◆応募方法：坊っちゃん文学賞公式ホームページから応募してください。  
(<https://bocchan-shortshort-matsuyama.jp>)
- ◆応募された方の中から抽選で、まつやま農林水産物ブランドなどをプレゼントします。

## 第 20 回坊っちゃん文学賞 募集要項

ここはあなたの「文学の入り口」です。アイデアとそれを生かした印象的な結末のあるショートショートに応募をお待ちしています。

### 募集作品

- ・ 4,000 字以内のショートショートを募集します。
- ・ テーマは問いません。あなたの想像力を作品に生かしてください。
- ・ 日本語で書かれ、未発表で筆者自身のオリジナルな作品に限ります。

### 応募資格

- ・ 年齢、職業、国籍、プロ・アマは問いません。

### 応募方法・募集締切

- ・ インターネットでの応募: 令和 5 年 5 月 1 日(月)8 時 30 分から 9 月 30 日(土)23 時 59 分までに、公式サイトのお応募フォーム(<https:// bocchan-shortshort-matsuyama.jp>)から応募してください。
- ・ 郵送での応募: 令和 5 年 5 月 1 日(月)から 9 月 30 日(土)(必着)までに、作品タイトル、著者名(公開可能な名前)、本名、生年月日、職業、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス(あれば)、賞を知った経緯、過去の坊っちゃん文学賞応募の有無を書いて、〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8-2F パシフィックボイス「第 20 回坊っちゃん文学賞」係へ。応募原稿の体裁、書式、縦書き、横書きは自由です。

### 審査員

審査員: 田丸雅智、大原さやか、山戸結希 アンバサダー: 白濱亜嵐

### 賞

大賞(1 名): 賞金 50 万円 佳作(5 名): 賞金 10 万円

### 発表・表彰式

- ・ 結果発表と表彰式は令和 6 年 1 月末を予定しています。
- ・ 最終審査を通過した作品の作者へは直接通知します。
- ・ 受賞者は表彰式にご出席ください(旅費は松山市が負担します)。報道機関からの写真撮影やインタビューへのご協力をお願いします。
- ・ 大賞作品は雑誌「ダ・ヴィンチ」に掲載します。

### 注意事項

- ・ 1 人で何作品でも応募できます。
- ・ 応募作品は返却しません。
- ・ 大賞、佳作受賞作品の著作権は松山市に帰属します。
- ・ 選考に関するお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。
- ・ これまでに WEB 上へ掲載したことがある作品は未発表とはみなしません。
- ・ 作品に個人情報や実在の企業名等を使用することや、他の文学賞などへの二重投稿はご遠慮ください。

### お問い合わせ

松山市役所 文化・ことば課

電話 089-948-6634 ファクス 089-934-1913

メール  [bocchan@city.matsuyama.ehime.jp](mailto:bocchan@city.matsuyama.ehime.jp)

## 第20回坊っちゃん文学賞 受賞作品の感想募集要項

多くの方に第20回坊っちゃん文学賞受賞作品を読んでもらい、ショートショート作品に親しむきっかけ作りや、坊っちゃん文学賞の認知度をさらに高めるため、受賞作品の感想を募集します。

多くの感想が著者の励みになります。皆さまからの応募をお待ちしています。

### 感想募集

- ・ 第20回坊っちゃん文学賞の受賞作(大賞1作品、佳作5作品)への感想を募集します。
- ・ 1作品から応募できます。
- ・ 一人につき、大賞1作品、佳作5作品の最大6作品に応募できます。
- ・ 1作品の感想は、300字程度までです。
- ・ 感想は、題名、構成、アイデア、意外な結末、文章などに関し、何がどのように良かったか、どう感じたかを、著者へのエールと一緒に記入してください。
- ・ 日本語で書かれた文章に限ります。

### 応募資格

- ・ 年齢、職業、国籍は問いません。

### 応募方法・募集締切

- ・ インターネットで受け付けます。
- ・ 令和6年1月25日(木)15時00分から2月25日(日)23時59分までに、公式サイト受賞作品の感想応募フォーム(<https://bocchan-shortshort-matsuyama.jp>)から、応募してください。

### 抽選・景品発送

- ・ 受賞作品の感想を応募いただいた方の中から抽選で、30名の方にまつやま農林水産物ブランドなどの景品を送ります。※当選は一人につき1回です。
- ・ 結果発表は景品発送をもって代えさせていただきます。
- ・ 令和6年3月末までに景品を発送します。

### 注意事項

- ・ 応募いただいた感想の著作権は松山市に帰属します。
- ・ 応募いただいた感想を著者にフィードバックするほか、SNSやホームページで公開する場合があります。
- ・ 抽選に関するお問い合わせには応じられません。ご了承ください。
- ・ 誹謗中傷や過度な批判を目的とした感想は抽選対象外です。

### お問い合わせ

松山市役所 文化・ことば課

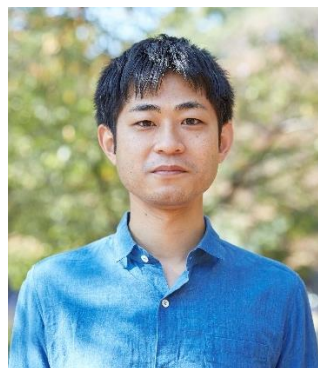
電話 089-948-6634 ファクス 089-934-1913

メール [bocchan@city.matsuyama.ehime.jp](mailto:bocchan@city.matsuyama.ehime.jp)

## 第20回坊っちゃん文学賞 審査員・アンバサダー

### 審査員長 田丸 雅智 (たまる まさと)

1987年、愛媛県松山市生まれ。松山東高、東京大学工学部卒、同大学院工学系研究科修了。現代ショートショートの手帳として執筆活動に加え、坊っちゃん文学賞などにおいて審査員長を務める。また、全国各地で創作講座を開催するなど幅広く活動している。ショートショートの書き方講座の内容は、2020年度から小学4年生の国語教科書(教育出版)に採用。2021年度からは中学1年生の国語教科書(教育出版)に小説作品が掲載。著書に『海色の壘』『おとぎカンパニー』など多数。メディア出演に「情熱大陸」「SWITCH インタビュー達人達」など多数。  
田丸雅智 公式サイト: <http://masatomotamaru.com/>



### 審査員 大原 さやか (おおはら さやか)

声優、ナレーター。アニメ出演作として「マイホームヒーロー」(鳥栖歌仙)、「xxxHOLiC」(杏原侑子)、「FAIRY TAIL」(エルザ・スカーレット)、「美少女戦士セーラームーン」(海王みちる・セーラーネプチューン)、「Fate/zero」(アイリスフィール)、「ARIA」シリーズ(アリシア・フローレンス)、「カレイドスター」(レイラ・ハミルトン)、「夏雪ランデブー」(島尾六花)等多数。第7回声優アワード助演女優賞受賞。au(携帯電話)留守番電話サービス音声や、京王線・京急線など関東圏5割以上の私鉄ホームアナウンスを20年以上担当。自身のライフワークである朗読番組「月の音色～radio for your pleasure tomorrow～」はインターネットラジオステーション音泉にて好評配信中。



### 審査員 山戸 結希 (やまと ゆうき)

映画監督。2016年、小松菜奈・菅田将暉主演『溺れるナイフ』が全国ロードショー、延べ60万人以上を動員。2018年、企画・プロデュースを務め、“ジェンダーあるいはセクシャリティがゆらいだ瞬間”をテーマとしたオムニバス映画『21世紀の女の子』が東京国際映画祭に特別招待。2019年、『ホットギミック ガールミーツボーイ』がNetflixにて世界190カ国に配信。2021年、『生きてとか死ぬとか父親とか』でテレビドラマ初監督を務める。RADWIMPS、乃木坂46、back numberら多数アーティストのミュージックビデオの映像監督を務め、大手企業の広告映像も手掛けている。



### アンバサダー 白濱 亜嵐 (しらはま あらん)

1993年8月4日生まれ、愛媛県松山市出身。2012年11月、GENERATIONS from EXILE TRIBE パフォーマーとしてメジャーデビュー。2014年4月にEXILE新パフォーマーに決定し、EXILEに加入。GENERATIONSのリーダーも務め、EXILE/PKCZ®と兼任しながら活動している。2023年2月にはフィリピン観光大使に就任。また、俳優としての主な出演作にはドラマ「シュガーレス」、「GTO」、「小説王」、「M 愛すべき人がいて」、映画「ひるなかの流星」、「コンフィデンスマン JP プリンセス編」、「10万分の1」などにも出演。さらにDJ(楽曲制作)としても活動し、マルチに活動の場を拓いている。



## (参考資料) 第19回までの坊っちゃん文学賞

開催年	回	応募数	大賞・受賞者	大賞・作品名	備考
S63～ H元	第1回	1,386	月本 裕	『今日もクジラは元気だよ』 (改題: キャッチ)	
H2～3	第2回	740	中脇 初枝	『魚のように』	受賞時は高校3年生。その後、坪田譲治文学賞(2013年)や2016年本屋大賞3位など
H4～5	第3回	1,057	光山 明美	『土曜日の夜～ The Heart of Saturday Night』	
			巖谷 藍水	『ノスタルジア』	受賞時は高校3年生
H6～7	第4回	1,164	敷村 良子	『がんばっていきまっしょい』	1998年映画化、2005年テレビドラマ化
H8～9	第5回	1,037	大武 完	『映写機カタカタ』	
H10～11	第6回	910	長屋 潤	『マジックドラゴン』	
H12～13	第7回	811	鬼丸 智彦	『富士川』	
			瀬尾 まいこ	『卵の緒』	『そして、バトンは渡された』で2019年本屋大賞受賞
H14～15	第8回	1,008	浅井 柑	『三度目の正直』	受賞時は高校3年生
H16～17	第9回	1,067	大沼 紀子	『ゆくとし くとし』	
H18～19	第10回	1,048	甘木 つゆこ	『タロウの鉗子』 (改題: はさんではさんで)	
H20～21	第11回	1,138	ふじくわ 綾	『右手左手、左手右手』	
			村崎 えん	『なれない』	
H22～23	第12回	1,057	真枝 志保	『桃と灰色』	
H24～25	第13回	1,060	桐 りんご	『キラキラハシル』	
H26～27	第14回	911	卯月 イツカ	『名もない花なんてものはない』	
H28～29	第15回	小説 854	鈴川 紗以	『ルカの麒麟』	15回の節目と子規・漱石生誕150年を記念し、ショートショート部門を設置
		ショートショート 1,087	塚田 浩司	『オトナバー』	
R元	第16回	5,628	高野 ユタ	『羽釜』	『ひゃくいろ節眼鏡』で株式会社ベルモニー presents ショートショートコンテスト最優秀賞受賞(2020年)
R2	第17回	9,318	山猫軒従業員・ 黒猫	『ドリームダイバー』	
R3	第18回	6,952	椿 あやか	『月光キネマ』	
R4	第19回	7,026	そるとばたあ	『ジャイアントキリン群』	

○ 平成元年の市制100周年を記念して、昭和63年から、斬新な作風の青春文学小説の募集を開始。全国の多くの市が市制100周年を迎え、記念事業として文学賞を開催する中で、「坊っちゃん文学賞」は自治体文学賞の先駆けとなった。

○ 審査員は椎名誠氏(審査員長)、早坂暁氏、景山民夫氏、中沢新一氏、高橋源一郎氏の5名で開始。平成10年に景山氏が死去、平成29年に早坂氏が死去。

○ 第15回までは2カ年事業として実施。初年度は募集、翌年度は審査・発表を行う。第16回からは、ショートショートの文学賞としてリニューアルし、毎年実施。

○ 第4回大賞の『がんばっていきまっしょい』のように映画化やテレビドラマ化される作品も生まれるなど、新人作家の登竜門ともなり、「ことばと文学のまち松山」を代表する取り組みの一つ。

○ 第7回大賞の瀬尾まいこ氏が『そして、バトンは渡された』で2019年本屋大賞を受賞。

○ 第15回から第17回受賞のショートショート作品を収録した書籍『夢三十夜』が令和3年6月に出版。